

各報道機関担当記者 殿

令和5年度「知識集約型社会を支える人材育成事業（DP）」成果発信シンポジウム 「STEAM教育を通した高大院接続による 人材育成エコシステムの構築を目指して」

金沢大学では、令和2年度に文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業（DP）」に採択されて以来、文理融合・分野横断によるSTEAM教育の推進に取り組んでいます。

本事業では、本学が幹事校を務め、他8つの採択大学との連携を深めながら、各大学の取り組みから生み出される「知」を結集することで、これまでの教育や学修の枠組みにとらわれることなく新たな価値を創造し、実践できる人材の育成を目指しています。

知識集約型社会に対応する新しい時代の人材育成には、学校教育や社会との接続によるエコシステムの構築が大きな礎となります。

本シンポジウムは、大学・高等学校・企業の視点、教える側・学ぶ側の視点を交えながら、本事業による取り組みの意義や持続性について考える機会とします。

については、本シンポジウムについての取材・報道をよろしくお願いします。

令和5年度「知識集約型社会を支える人材育成（DP）」成果発信シンポジウム 「STEAM教育を通した高大院接続による人材育成エコシステムの構築を目指して」

開催日時 令和6年2月27日（火）13：00～16：40
会 場 金沢大学 ナノ生命科学研究棟4階 メインカンファレンスルーム
（金沢市角間町）
対 象 大学関係者、高校関係者ほか、どなたでも参加可能
内 容 詳細は別添のチラシ（別紙1）をご覧ください。
主 催 金沢大学（幹事校）、新潟大学、信州大学、大正大学、東京都市大学、
麻布大学、千葉大学、早稲田大学、名古屋商科大学
後 援 一般社団法人 学びのイノベーション・プラットフォーム（PLIJ）

本シンポジウムの詳細は、DP事業ポータルサイトのページからご覧いただけます。

<https://chishiki-syuyaku.jp/news/786/>

※取材希望の際は、「取材申込書」を2月22日（木）15：00までにご提出ください。

【本件および当日のご連絡先】

金沢大学 教学マネジメントセンター
教授 林 透（はやし とおる）
TEL：090-2099-1788
E-mail：ku-steam@ml.kanazawa-u.ac.jp

【取材申込先】

金沢大学 学務部学務課学務企画係
髯崎（びんさき）
TEL：076-264-6073
E-mail：gakukikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

取材を希望する場合は、本申込書を

2月22日（木）15：00までに下記の担当宛てにメール送付願います。

担 当：金沢大学 学務部学務課学務企画係
鬢崎（びんさき）

E-mail：gakukikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

申込日：令和6年 月 日

令和5年度「知識集約型社会を支える人材育成（DP）」成果発信シンポジウム

取材申込書

受付場所：金沢大学 ナノ生命科学研究所棟4階 メインカンファレンスルーム

下記の事項について、ご記入をお願いします。

報道機関名：_____

取材記者名：_____

連 絡 先：_____

※当日、連絡が取れる番号を記載してください。

＜取材に関してのお願い＞

- ① 受付の際は名刺等をご提示願います。
- ② 取材の際は、自社腕章を必ず着用の上、担当者の指示に従ってください。
- ③ 当日は別紙2角間キャンパスマップに記載の所定の駐車場（M駐車場）に駐車し、決して路上駐車等を行わないでください。申し込み時のメールアドレス宛に、臨時駐車許可証を送付しますので、当日は、印刷の上ご持参いただき、臨時駐車許可証を車両正面から容易に確認できるよう掲示ください。



STEAM 教育を通じた 高大院接続による 人材育成エコシステムの構築を目指して

文部科学省「知識集約型社会を支える人材育成事業（DP）」では、これまでの教育や学修の枠組みにとらわれることなく、STEAM 教育などを通して新たな価値を創造し、実践できる人材の育成を目指しています。新しい時代の人材育成には、学校教育や社会との接続によるエコシステムの構築が大きな礎となります。本シンポジウムでは、大学・高校・企業の視点、教える側・学ぶ側の視点を交えながら、DP 事業による取組の意義や持続性について考える機会としたいと思います。

ハイブリッド開催（対面及びオンライン）

参加費無料

2024/ **2/27** (火) 13:00・16:40
受付時間 12:30～

金沢大学 ナノ生命科学研究所棟 4 階・
メインカンファレンスルーム（角間キャンパス南地区）

- | | |
|------|--|
| 対 象 | 大学関係者、高校関係者ほか、どなたでも参加可能 |
| 定 員 | 会場 60 名、オンライン 150 名
※会場参加は、定員になり次第、申し込み受付を終了します。 |
| 申込方法 | 申し込みフォームから必要事項をご記入の上
お申し込みください。
お申し込み受付後、オンライン参加の方には、
Zoom 情報を本シンポジウム開催日の
前日までにメールにて送付します。 |

申し込みフォーム <https://forms.gle/jYEjvL2vSGSxk4Rn6>

- | | |
|------|--|
| 申込期限 | 2024 年 2 月 21 日（水）17:00 |
| 主 催 | 金沢大学（幹事校）・新潟大学・信州大学・大正大学・東京都市大学・
麻布大学・千葉大学・早稲田大学・名古屋商科大学 |
| 後 援 | 一般社団法人
学びのイノベーション・プラットフォーム
Platform for Learning Innovation - Japan (PLIJ) |



北鉄バスをご利用の方は「金沢大学自然研前」の
バス停で降り、会場までお越しください。



STEAM教育を通じた高大院接続による 人材育成エコシステムの構築を目指して

13:00 ~ 13:10 オープニング

13:10 ~ 13:20 文部科学省来賓ご挨拶

13:20 ~ 13:50 基調講演①

今なぜ、異分野融合・協働が必要なのか、 そして、その価値とは？



東京大学生産技術研究所 所長、
一般社団法人 学びのイノベーション・プラットフォーム (PLIJ) 理事
岡部 徹氏

1993年京都大学大学院工学研究科博士課程修了・博士、マサチューセッツ工科大学 (MIT) の博士
研究員、東北大学素材工学研究所 (現：多元物質科学研究所) を経て、2009年から教授に就任した。
2019年度～2020年度、東京大学 副学長。2021年度から東京大学 生産技術研究所 所長 (現在に至る)。
専門は材料化学、環境科学、循環資源工学、レアメタルプロセス工学。

13:50 ~ 14:10 基調講演②

学域学類制の歩み 15 年の軌跡



金沢大学 理事 (教育・高大院接続・大学院改革・情報担当) / 副学長
森本 章治

1979年金沢大学工学部卒業、1981年東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了、工学博士
(東京工業大学、1987年3月)。専門は電子材料物性。金沢大学工学部教授などを経て、学長補佐、
大学院自然科学研究科長、理工研究域長・理工学域長などを歴任し、2022年4月から現職。大学
入学前から大学院修了後までを俯瞰した全学的な教育改善・教育改革を牽引している。

14:10 ~ 15:00 採択校からの成果報告

新潟大学 教育基盤機構副機構長・副学長、教学マネジメント部門長
教育基盤機構 准教授
信州大学 先鋭領域融合研究群 社会基盤研究所 特任准教授
大正大学 教学マネジメント推進機構 学修支援センター 教授
千葉大学大学院 国際学術研究院 特任講師
名古屋商科大学 商学部 学部長

福島 治
上畠 洋佑
坂本 泰宏
前田 長子
縣 拓充
小野 裕二

[15:00 ~ 15:10 休憩]

15:10 ~ 16:30 パネルディスカッション

東京大学生産技術研究所 所長、
一般社団法人 学びのイノベーション・プラットフォーム (PLIJ) 理事
石川県立金沢二水高等学校 副校長
株式会社 箔一 管理部 人事課
大正大学 文学部 人文学科 国際文化コース 3年
千葉大学 国際教養学部 4年
名古屋商科大学 商学部 3年
金沢大学 教学マネジメントセンター 副センター長・教授
金沢大学 教学マネジメントセンター 特任助教

パネラー

ファシリテーター

岡部 徹氏
石尾 和彦氏
宮吉 信行氏
赤野間 妃葵
久留島 伶乃
玉置 嶺雄
林 透
山下 貴弘

16:30 ~ 16:40 クロージング

会場：ナノ 生命科学研究所
※2階正面玄関までお越しください。

北地区

南地区

中地区

報道関係者の駐車場所
(M駐車場)

北地区

- N1 大学会館(食堂・売店・郵便局)
N2 中央図書館・資料館
N3 総合教育1号館
【国際学類、国際基幹教育院、国際機構留学生教育部】
N4 総合教育講義棟
N5 総合教育2号館
【国際基幹教育院、人間社会環境研究科】
N6 人間社会1号館
【人文学類、地域創造学類、国際学類、人間社会環境研究科】
N7 人間社会第1講義棟
N8 人間社会2号館
【法学類、経済学類、人間社会環境研究科】

南地区

- S1 自然科学本館
S2 自然科学系図書館、南福利施設(食堂・売店)
S3 自然科学1号館
【理工学域、薬学類、医歯学類】、
ナノマテリアル研究所
S4 自然科学2号館
【融合学域、理工学域、高度モリテリテ研究所】
S5 自然科学3号館
【理工学域】

- N9 北福利施設(食堂)
N10 人間社会3号館
【学校教育学類、地域創造学類、教職実践研究科、法学研究科】
N11 人間社会第2講義棟
N12 人間社会4号館
【学校教育学類、地域創造学類、教職実践研究科】
N13 人間社会5号館
【学校教育学類、地域創造学類、教職実践研究科、
古代文明・文化資源学研究所】
N14 工作実習棟
N15 教職総合支援センター
N16 プール
N17 資料館分館
N18 北課外活動共用施設
N19 屋内運動場(体育館)
N20 エネルギーセンター
S6 がん進展制御研究所
S7 環境保全センター
S8 ナノ生命科学研究所
S9 ペンチャー・ビジネス・ラボラトリー、ハードラボ1
S10 ハードラボ2
S11 環日本海域環境研究センター、ハードラボ3
S12 設計製造技術研究所、ハードラボ4
S13 技術支援センター
S14 自然科学大講義棟
S15 学生留学生宿舎「先魁」「北沢」
S16 バイオマス・グリーンイノベーションセンター
【建設中】

中地区

- C1 本部棟、保健管理センター、
先端科学・社会共創推進機構
C2 学術メディア創成センター
C3 中福利施設(食堂・売店)
C4 自然科学5号館【理工学域】
C5 インキュベーション施設
C7 極低温研究室
C8 疾患モデル総合研究センター
アイトープ理工系研究施設
C9 かくまちプラザ
C10 角間ゲストハウス
C11 国際交流会館

